

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム むつみ

目標達成計画書

作成日: 平成 24 年 11月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化の指針を、入居時に利用者や家族に説明し承諾をもらっているが、利用者の重度化が進む中、家族との日常的な連携強化と、ホームで出来る支援を明示し、家族や主治医と常に話し合い、方針を共有していく。	ターミナルケアの指針について、ホームで出来ること、出来ないことの支援を明記した内容に変更する。家族との日常的な連携を強化し、利用者の重度化に合わせ、家族とホームが協力しながら、利用者の終末期を支援していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み(職員の質の向上と質の確保を目指す)	利用者に提供する介護サービスが、職員の技術力によって内容が違って来る場合や、利用者に受け入れられない場合等を考慮して、サービスの在り方を検討していく。	どの職員が介護サービスを提供しても、同じ質のサービスが提供出来るように、職員の習熟度や経験、やる気等を考慮し、外部研修を受け介護力をつけて、利用者や家族が満足する介護サービスを実践していく。	継続
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。